メールマガジン

赤田拓磨

～ 効果的な広告手法・事務作業の効率化

写真の説明

概要

過去の参加者、ホームページからメールマガジンに登録してもらった方々に対してメールを配信する．内容は開催予定のイベント、アントレプレナーシップに関するトピックなど．SEO対策からもメールマガジン経由での各種イベント紹介ページへの流入は多く見受けられており、一般参加者のSIEED入り口として重要な立ち位置を持つ.

諸データ

- 累計メールマガジン発行数
  - 13回
- 登録者数
  - 3月14日現在 1044人
- 主な登録者グループ
  - SiEED講座参加者、SiEED科目受講者、カンファレンス登録者、鈴木と連絡先の交換をした方 etc.

目的

- SiEEDの活動の公知
- メールマガジンの効率的な運用

経緯

SiEEDメールマガジンは一般の方・大学生にむけてメールという媒体を通してSiEEDについて知っていただく目的で運用されている．当初はイベント等の参加者に対して個別に登録するという形を取っていたが、ホームページを通して登録いただくと言う形に変更した．また、岡山大学情報統括センターのメーリングリストソフトを使っている都合上、登録やメールの文面上に一般の方について不可解な点が生じることがあった為、その調整などを行った．登録等の処理はSiEEDの連絡ツールとして用いているSlackとの連携等、効率化ツールの活用を図っていく．

自分が得た学び、自分に起きた変化

効率化ツールの活用等にはもともと興味があり、個人的にも様々試していたが、実務への実装として本格的に取り組んだのはSiEEDが初めてだった．普段自分ためのだけに効率化ツールを使う場合との違いは、制約条件の多さだった．岡山大学のシステム実装に則ったツールの使い方をしないとならないし、自分の裁量なら一瞬で終わる操作が１カ月かかったりなど、理想と現実の違いを思い知った．外部との連携に係る時間を含めて、総合的に効率が良くなる方法を考えることが実務への実装に大切なのだと思い知った．

今後への期待、計画

岡山大学のメール配信システムの更新（２０２０年５月以降）に伴うSiEED側システムの更新を行う．